

## ワシントン大学 プログラム参加者体験談

G K 様 大学2年生 男子

期間:2016年8/7~8/28 22日間

滞在:アメリカ ワシントン州・シアトル ワシントン大学

参加プログラム:University of Washington, IELP

Language & Culture Short Term English Program 2016, 8月

### ●Language & Culture Short Term English Program(STEP)について

#### ◇午前のクラスについて

簡単なレベルの英語での自己紹介に始まり、英会話シミュレーション、ディベートそしてインタビューへと無理なくステップアップしたので、極端に英語の壁を感じる事はありませんでした。自己紹介の仕方や会話の仕方、自分の意見の述べ方など各週にテーマがあったため、前日の応用を自発的に行う事が出来ました。クラスメイトとの英会話の機会が豊富で、映画を用いた授業展開は飽きる事なく非常に充実したものでした。



ワシントン大学シンボルマーク



ワシントン大学キャンパス

#### ◇フィールドトリップについて

毎週火曜、木曜はSTEPのアクティビティに参加しパイクプレイスマーケット、ベレヴュー、フリーモント、ベインブリッジアイランドに行きました。パイクプレイスマーケット、インドアゲームは初週にあり、友達作りも兼ねて非常に充実しているので、特にオススメです。またベインブリッジアイランドは船からの景色が良いので、晴れている日はとても気持ちいいです。

またキャンパス内でのアクティビティとして、インドアゲームやスポーツデーもありました。どれも充実しており、この機会に多くの友達に巡り会う事が出来ました。

### ●滞在先について

ホストファミリーは大変親切で親しみ易い方々でした。私の拙い英語を気にする事なく、たくさん話してくれました。食事は意外にも牛肉や鶏肉が中心で魚介類と言えばサーモンやエビくらいでした。自分で取り分けさせてくれたので、適切な量を食べる事が出来ました。部屋は適度な大きさと洋服棚を使わせてくれた事が非常に便利でした。残念だった点をあげるとすれば、掃除がやや疎かなところがありました。

### ●正規学生や他の留学生との交流について

正規学生とは授業内のインタビュープロジェクトの一環で質疑をする機会はありませんでしたが、会話という程ではなかったです。活かし方によってはチャンスがあると思います。

他の留学生とは台湾人のグループとインドアゲームの日にボウリングを通じて仲良くなり、その後も共に行動する機会が何度もありました。私は大学で第二外国語として中国語を少しだけ勉強しているの  
で、中国語を話のネタにしながら仲良くなりました。

### ●その他フリータイムの過ごし方について

ホストファミリーとアウトレットで買い物したり、航空博物館に連れて行ってもらったりしました。航空博物館は、2 時間しか滞在出来ませんが、飛行機好きなら丸1日潰せます。飛行機の歴史からボーイングの歴史、実際に活躍していた飛行機の機内の見学、テストフライトする飛行機を間近で見るなど目白押しでした。私は乗りませんが、\$100 ほどでその飛行場からセスナ機でダウンタウンを上空から見る事も出来ます。ボーイング工場のツアー見学会場にも連れて行ってもらいましたが、あいにく当日はプライベートパーティーのために、ツアーは終日行われていませんでした。予め念入りに情報収集するか、オンラインでのチケット購入を強くオススメします。

平日はほぼ毎日どこかへ出かけ、クラスの友達、その他大勢で野球観戦をしたりビーチに行ったりしました。またシアトルはスタバ以外にもカフェがたくさんあり、世界で初めてラテアートを始めたと言われている Espresso Vivace というお店にも行きました。あつという間に出来るアートに感動しますし、ラテの味も抜群です。

スタバ 1 号店は、常に入店まで 30 分ほどかかるほど混んでいました。お店の壁の棚にタンブラーやマグカップのサンプルがあり、購入する場合はレジで注文する形式でした。1 号店とは別にロースタリーというところもあり、こちらもダウンタウンにあるのですが、大変素晴らしいところでした。リザーブと言ってスタバの中でも希少性の高い豆を扱うお店の総本店で、店内で実際に豆を炒ってる機械を見ることが出来ます。プチ工場見学みたいな感じです。バリスタの皆さんはスタバの中でも最高峰の人達がいるのではないかという感じで、みんな優しくカッコ良かったです。



航空博物館



スターバックス・ロースタリー

### ●ワシントン大学施設利用について

HUB(Husky Union Building)はカフェテリアで、それに加えてスタバ、売店、本屋、インドアアクティビティが揃っており、学生の憩い場になっていました。昼食はほとんどここで取っていました。

Suzzallo Library は写真で有名な図書館ですが、1階に売店兼スタバと多少の飲食スペースがあるのでここで食事する人もいました。



Suzzallo Library

### ●日本から持参をおすすめするもの

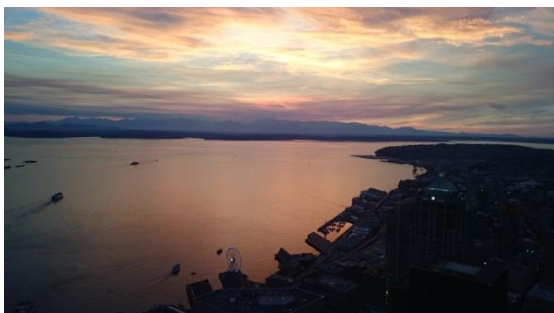
野菜や果物をほとんど食べる事が出来なかったのも、栄養的にビタミン剤があるといいと思いました。夏はほとんど晴れており、日射しが強いので女性は日焼け止めが欠かせないです。クレジットカードはやはり VISA か MasterCard が便利でした。持っていて便利だったのは部屋で履くスリッパです。スポーツデー用の動きやすい服も重宝しました。

### ●研修中の一番の思い出

毎日が想像以上に充実していたのでたくさんの思い出がありますが、一番の思い出は帰国前日の夜に、コロンビアセンタービルの展望デッキから見た景色です。73階からの景色は圧巻で、知り合いが誰もいない不安に満ちた初日から怒涛の3週間を振り替えると、自然に涙が出ました。夕方から夜にかけてゆっくりするのがおすすめです。

ネット社会と言えども、その土地へ行く事の方が圧倒的に情報量は多く、右も左も分からない状況をなんとか打開して行くことは、日本に居ては絶対味わえなかったのも、とても良い経験になりました。

英語に関しては聞く力は付いたものの、喋る力はなかなか実感が沸きませんでした。しかし、自分の実力がどの程度が把握し、どうしていきべきか方向性が見えただけでも十分な収穫になりました。



コロンビアセンタービルからの景色